立命館大学経営学部校友会

ACROSS　速報版

2016 年 11 月 7 日　第 83 号

乾光孝氏講演
「世界遺産保存継承への取り組み」
～企業との共同文化事業などを例に～

2016 年 11 月 6 日，京都ガーデンパレスにおいて，2016 年度経営学部校友会経営学振興事業第２回セミナー，そして懇親会が行われました。講演会は立命館大学文学部 1997 年卒業の賀茂別雷神社（通称 上賀茂神社）権禰宜乾光孝氏による「世界遺産保存継承への取り組み」と題するお話しでした。乾光孝氏は上賀茂神社で広報を担当され，アメリカ滞在のご経験もお持ちで，対外的な活動を行われており，大変興味深いお話しでした。聴衆の皆さんも神職がどのようなお仕事なのかあまりよくわからない。けれども大変関心があり質問も活発になされ，これに答えるという興味深いやりとりをされていました。懇親会でも突っ込んだ質問をされるなど，ここでは詳細にはお伝えしきれません。ご了解ください。

【 講師： 乾　光孝 氏 】

私の家系・仕事　私は立命館大学文学部で日本史を専攻していました。皇學館高校を卒業後入学し，宗教と政治の関わりを研究しました。卒業後は國學院大學で神職となるための勉強をしました。乾という姓は滋賀県長浜に出ています。彦根藩とのつながりがありました。丹後縮緬の流れで長浜縮緬というのがありますが，乾家の祖先は産業を興さないといけないというので縮緬の事業を興すとともに，神職をも行っていました。私はその家系から今，上賀茂神社で広報を担当し，式年遷宮奉賛会の事務局として仕事をしています。伊勢神宮の式年遷宮も勉強させていただきました。経団連，商工会議所の協力もあり活動なさっておられましたが、私がよく会社などにお願いに行くと，「我が社としてのメリットはどこにあるのか，株主への説明義務があるので，どう説明すればよいのか」を聞かれます。会社にご挨拶に伺うとき，企業さんにどのようにお話ししているかをご紹介しながら，お話しを進めたいと思います。

まず，なぜ主要な神社で式年遷宮が行われているかを含めてお話しさせていただきます。今日は 11 月 6 日，20 年に 1 度の春日大社の遷宮の日です。上賀茂神社は 1 柱 1 座ですが，春日大社は 4 座あり，1 年前に仮遷宮が行われましたが４回、神様のお引っ越しをされたと伺いました。

賀茂別雷神社　賀茂別雷神社（かもわけいかづちじんじゃ）は，日本の素朴な信仰，すなわち願う気持ち，自然な想いに端を発しています。神道は，いつ始まったか。それは日本の始まったときに始まったといえます。まさに原始的な信仰です。上賀茂神社の始まりは縄文時代後期、社殿の始めは飛鳥時代だといわれています。

信仰の対象は神山（こうやま）です。神山の麓に立命館中高の神山校舎が約５０年間あって，その後今の柊野グラウンドで硬式野球部が練習していますが，上賀茂神社では必勝祈願もしています。神山の

麓に上賀茂神社があります。神山の環境を守ることも式年遷宮の意味です。その環境で大事な水をテーマにお話しを行います。

私は権禰宜という職階ですが、神社では宮司（ぐうじ）・権宮司（ごんぐうじ）・禰宜（ねぎ）・権禰宜（ごんねぎ）という職階の下の方です。私はそこで広報を担当しています。この 10 月，金融危機説が言われていましたが起こらなかった。これからもわかるように今は見えない時代です。それに引き替え上賀茂神社は 2600 年存在し続けています。上賀茂神社は戦火の中でも存続し.その中での取り組みをしているわけです。

上賀茂神社の役割・モラリティ　上賀茂神社は今，企業の方々といろんな取り組みを行っています。

[以下スライドを示しながら]

これはＪＲ東海との関わりで，クラシックコンサートをしているところです。ＪＲ東海としては安全祈願としての関わりがあります。こういった事を通じて心を穏やかに持って頂く事は今の世の中とても大事な事です。今や日本では年間 3 万人の自殺者がいますが，イラクから見ればこれは戦争と同じです。いわば経済戦争です。これをどういう風に克服するか。それは心の問題です。経済的損失も存在します。この心の問題をよい方向に導いていくのが今日の神社の役割だと思います。

祈願というのは昔からあります。幕末，孝明天皇賀茂行幸があり，そのときの祭文（さいもん）願い文が残されています。そこには今日の混乱は私の不徳のいたすところだと書いてあります。そのとき，14 代将軍徳川家茂を帯同してこれを行いました。これが世間の目に見えて，大政奉還につながったといわれています。

心の問題，心を和らげることが，大事です。神社は大事な存在です。私は神社はデバイスだといっています。神社をフィルターとして，参拝前後で心が変わります。清らかになります。そのことによって，この社会が有機的に働くことにつながると思っています。信仰の対象をデバイスと表現するのを許せないという人もいますが。元気とは気の状態を元に戻すという意味です。それが大事だと思っています。

立命館大学のモンテ・カセム教授は，モラリティ，心の問題，これが日本が世界に輸出していくべきものだと仰っています。社会をよりよい方向に持って行く。その力を得ていただくのに神社が意味を持っていると思います。クラシックを聞くと心が落ち着けます。それと同じように，神社は存在し続けるべきだと思っています。式年遷宮もその一つです。

神社のご神体　奈良県に大神神社(おおみわじんじゃ)というのがあります。そこでは三輪山がご神体です。大神神社には拝殿はありますが本殿がありません。三輪山がご神体だからです。ものを感じる，山，大木，岩。などなど感じるものです。原始的なまつりごと。それを残しているのが，三輪山です。上賀茂神社における神山も同じです。

神社にはもともと本殿というのもがありませんでした。自然そのものがご神体でした。その後本殿ができたきっかけは仏教の影響です。仏像安置の覆い屋根が必要です。これが寺院です。神社はもともと何もなかったのですが，仏教にあわせて神社の側も建物を建てる必要が出てきて，それが本殿になりました。

ですから，もともと山に宿る神を大事にしていました。賀茂川の上流に上賀茂神社が存在しています。甲子園球場の 19 個分の神域があります。そこから流れてくる水，そこで水で手を清めます。さて，御用水というのがありますが、上賀茂神社前の賀茂川から御所に水をひいていたのです。その水門の鍵を管理していたのが上賀茂神社です。また田畑に必ず水を流していました。水を平等に配分するために神職に川奉行を置いていました。上賀茂神社は災害にはあっていません。高台にあったからです。精神的な支柱として存在し続けてきました。心の拠り所，モラリティが大事にされてきた証拠です。熊本地震の時，阿蘇神社の楼門が倒壊しました。人々は，阿蘇神社が身代わりになったといっていました。これはもともとの日本人の考え方でした。伊勢湾台風の時も，風宮（かぜのみや）の神様が身代わりになったと言われていました。神社は人々の心のよりどころであり，復興につながりました。

二葉葵　葵祭　スライドをご覧下さい。二葉葵です。葵祭のシンボルです。今やこれを絶滅させないよう，葵を育てることを全国でしていただいています。葵祭の牛車に藤が飾られていますがこれは造花です。けれど二葉葵は造花ではなく，本物を使っています。神聖なものです。だから株分けして全国で育てていただいています。神の教えを守っています。葵を守り育てています。これで平安につながると信じています。

葵サミットというのが NTT 西日本の協力で昨日ありました。教育事業です。鯖江の松平、吉江藩にも，二葉葵があります。浜松，静岡などでも，徳川家のシンボル葵を育てています。渋谷の葵もそうです。地域，郷土史の一環として，二葉葵を大切にしています。ちなみに徳川家は三つ葉葵のご紋ですが，実は三つ葉葵は自然には存在していません。二葉葵は恐れ多いので松平家は存在しない三つ葉葵を家紋にしたのです。

ヤサカ自動車 1200 台の保有の屋根に三葉クローバーがありますが，その中でも二葉葵のタクシー 600 分の 1 の割合，つまり 2 台だけあります。これは式年遷宮に協力してのことです。

上賀茂神社で結婚式を挙げるカップルも増えてきました。海外の人があげることも増えてきていますが、昨年度合計 813 組のカップルが誕生しています。また上賀茂神社は京都の観光にも貢献しています。喜びを持って帰っていただくことができていると思っています。これも神社の存在意義だと思います。スライドでご覧のようにイングランドのカップルに京都市長が結婚証明書をお渡ししています。法的拘束力はありませんが。

上賀茂神社では，スライドに見られるような笠懸神事も行っています。そして桜，ならの小川，紅葉，新雪などなど素晴らしい環境があります。このような神社の景観を守ることが式年遷宮の意味でもあります。

ビデオ紹介

[以下，ビデオ映写の紹介がありました]

以下のビデオは，御協力いただいている様々な企業様と関わっていることの紹介です。

１　ANA 機内ビデオ「二葉葵を守ろう」というもので，葵の森再生に関わって，上賀茂神社と協力していただいています。自然の神様で，航空安全も願っておられます。

２　ＡＧＦ（味の素ゼネラルフーヅ）コーヒーですが，わき水(神山湧水）は軟水で，軟水に恵まれています。硬度 40 という超軟水で，まろやかです。神山湧水珈琲というのを作り協賛していただいています。

３　式年遷宮は合計 23 億円の費用がかかります。お屋根の修復だけで 10 億円かかります。ＡＧＦに協賛いただき，これをインターネット中継して最高瞬間 6000 人がご覧になられました。1 分の短縮版をご覧頂きます。これは実は 78 年ぶりの中継です。戦前に NHK ラジオが中継して以来です。

４　ジオラマをつかって神山湧水珈琲を紹介。

５　企業の取り組みについて，WBS（ワールド・ビジネス・サテライト）で和菓子とコーヒーというのをご紹介いただきました。京都は茶もコーヒー消費量も多いのです。企業と共存共栄していきたいと考えています。

感じる　上賀茂神社のご神体は神山です。それによりご神霊を感じるのです。日本人は元々見えないものを感じます力を持っています。感じることは大切です。

「感じる」ことの大切さなど微妙なところは，十分にお伝えきれていません。ご容赦下さい。

（松村）

Ritsumeikan
経営学部 校友会

【立命館大学経営学部校友会】
〒567-8570　大阪府茨木市岩倉町 2-150
TEL:072-665-2090　FAX:072-665-2099
E-mail: info@ritsba-kouyukai.jp